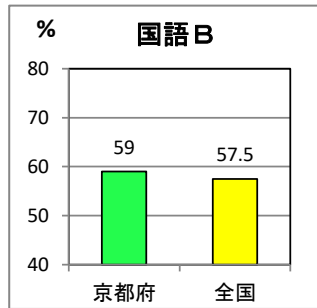
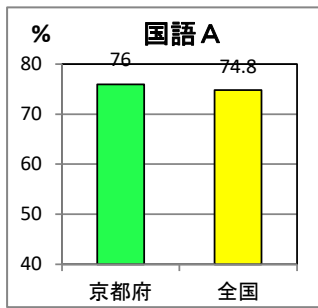


Ⅱ 教科に関する調査結果の概要

1 小学校の概要

(1) 国語



(2) 算数

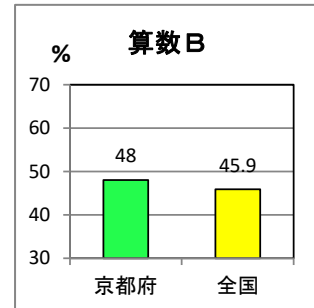
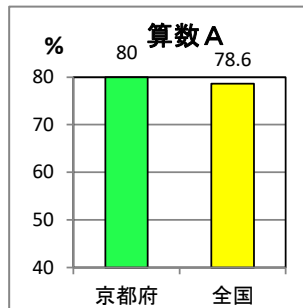


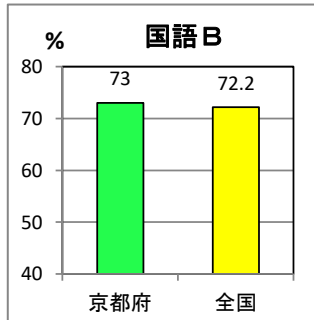
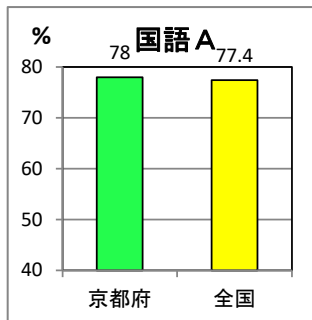
表1 小学校 平均正答率(京都府・全国とも公立学校)

教科等	国語				算数				理科	
	A「知識」		B「活用」		A「知識」		B「活用」		京都府	全国
	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国		
29年度	76	74.8	59	57.5	80	78.6	48	45.9		
28年度	74.2	72.9	59.4	57.8	79.9	77.6	48.6	47.2		
27年度	72.1	70.0	67.5	65.4	77.6	75.2	47.5	45.0	62.2	60.8
26年度	73.3	72.9	56.9	55.5	79.9	78.1	59.7	58.2		
25年度	65.8	62.7	52.1	49.4	79.2	77.2	61.1	58.4		
24年度	82.7~ 83.8	81.4~ 81.7	57.2~ 59.1	55.4~ 55.8	75.7~ 77.3	73.1~ 73.5	60.9~ 62.7	58.7~ 59.1	61.6~ 63.2	60.8~ 61.1
22年度	84.8~ 86.2	83.2~ 83.5	79.4~ 81.3	77.7~ 78.0	77.3~ 79.2	74.0~ 74.4	51.6~ 53.9	49.1~ 49.5		
21年度	71.6	69.9	53.4	50.5	82.2	78.7	56.6	54.8		
20年度	68.4	65.4	53.7	50.5	75.3	72.2	53.3	51.6		
19年度	82.8	81.7	64.0	62.0	85.3	82.1	66.4	63.6		

○ 国語A、国語B、算数A、算数Bの全てにおいて、平均正答率が全国平均を上回っています。

2 中学校の概要

(1) 国語



(2) 数学

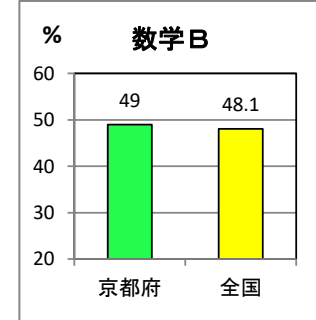
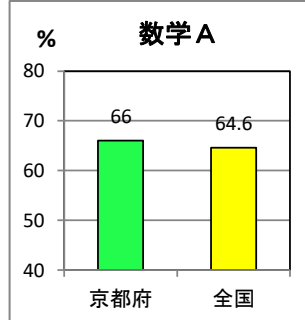


表2 中学校 平均正答率(京都府・全国とも公立学校)

教科等	国語				数学				理科	
	A「知識」		B「活用」		A「知識」		B「活用」		京都府	全国
	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国		
29年度	78	77.4	73	72.2	66	64.6	49	48.1		
28年度	74.2	72.9	59.4	57.8	79.9	77.6	48.6	47.2		
27年度	76.7	75.8	66.5	65.8	65.3	64.4	42.5	41.6	52.6	53.0
26年度	79.4	79.4	51.3	51.0	67.7	67.4	60.1	59.8		
25年度	76.3	76.4	68.2	67.4	64.2	63.7	42.9	41.5		
24年度	74.2~ 75.4	75.0~ 75.2	61.5~ 62.9	63.2~ 63.4	61.6~ 63.3	62.0~ 62.3	47.3~ 49.6	49.2~ 49.5	48.7~ 50.3	50.9~ 51.1
22年度	74.2~ 75.3	75.0~ 75.2	63.4~ 64.8	65.1~ 65.5	62.8~ 64.6	64.4~ 64.8	40.9~ 42.9	43.1~ 43.5		
21年度	75.9	77.0	73.0	74.5	62.3	62.7	55.5	56.9		
20年度	73.5	73.6	61.0	60.8	64.1	63.1	49.5	49.2		
19年度	81.4	81.6	72.0	72.0	72.8	71.9	61.2	60.6		

○ 国語A、国語B、数学A、数学Bの全てにおいて、平均正答率が全国平均を上回っています。

3 小学校 正答数の分布状況

ア 国語A(主として知識)

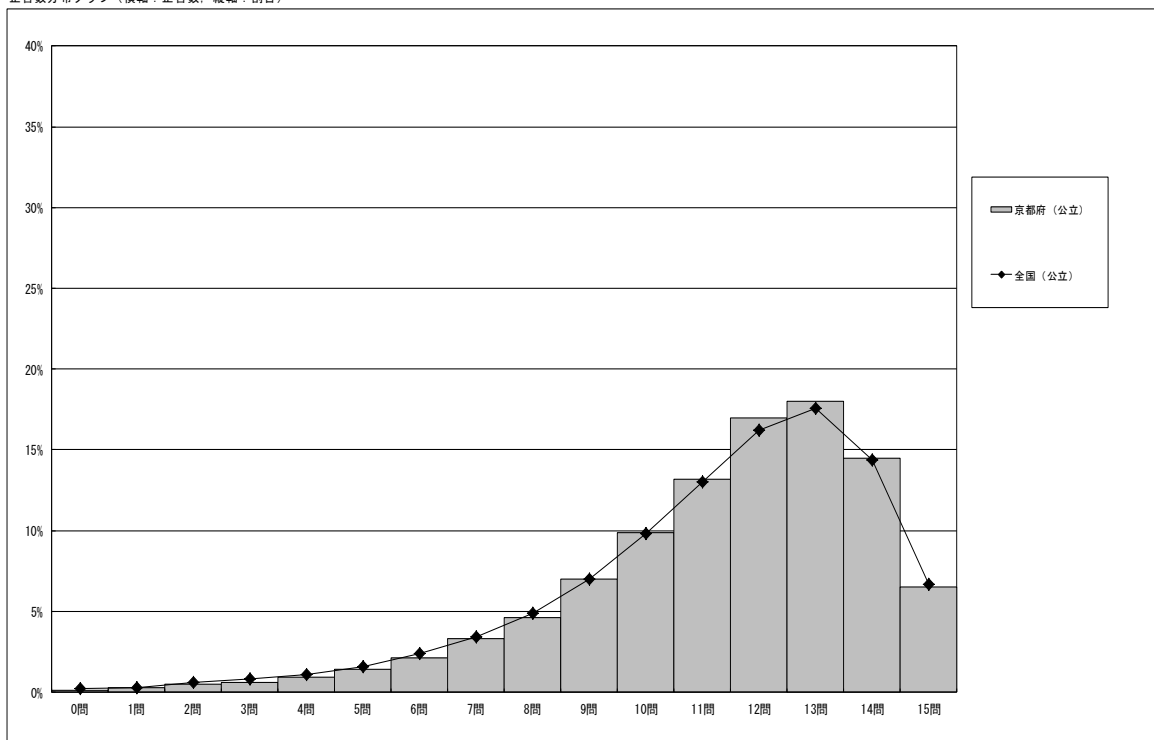
以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	19,978	11.3 / 15	76	12.0	2.7
全国(公立)	999,683	11.2 / 15	74.8	12.0	2.8

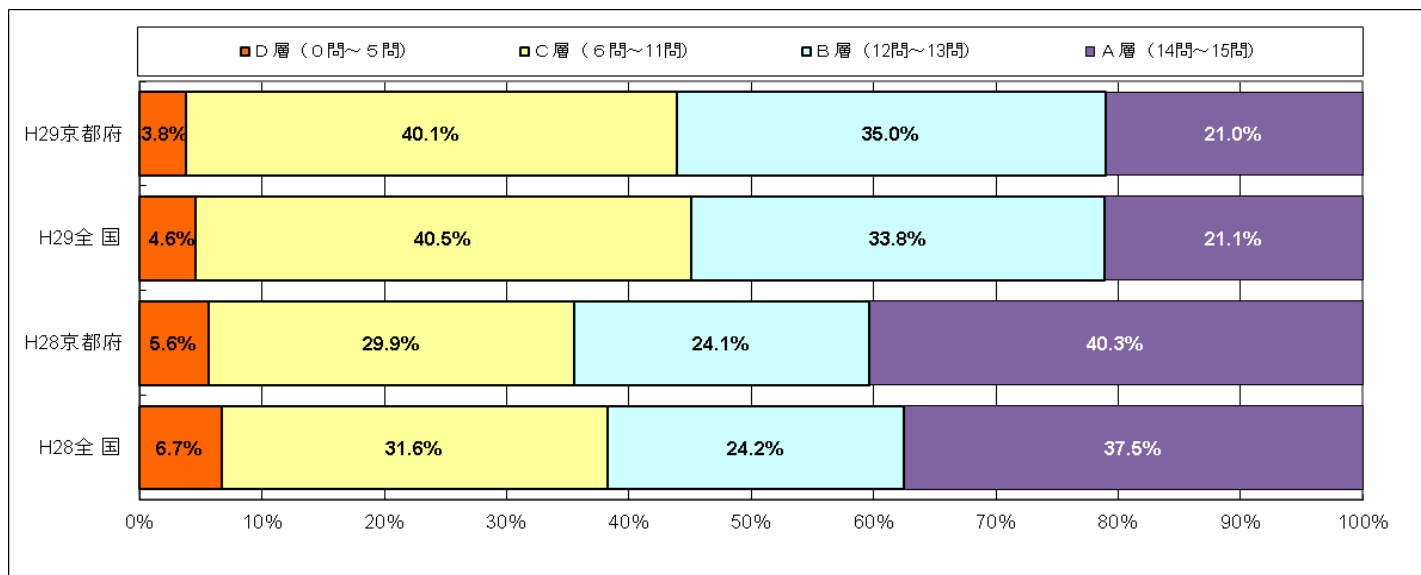
在籍児童数	調査対象児童数	当日実施児童数	後日実施児童数	実施児童総数
20,719	20,467	19,978	161	20,139
1,055,335	1,029,681	999,683	11,724	1,011,407

正答数集計値 (左:児童数 右:割合(%))		
0問	19	0.1
1問	52	0.3
2問	105	0.5
3問	126	0.6
4問	176	0.9
5問	275	1.4
6問	420	2.1
7問	669	3.3
8問	926	4.6
9問	1,406	7.0
10問	1,984	9.9
11問	2,635	13.2
12問	3,389	17.0
13問	3,603	18.0
14問	2,897	14.5
15問	1,296	6.5

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



◇【小学校国語A】 A～D層の分布状況(平成28年度と29年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、児童をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の児童をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の児童をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の小学校国語Aの出題数は15問あり、全国の平均正答数が11.2問です。したがって、0～5問がD層、6～11問がC層、12～13問がB層、14～15問がA層となります。

イ 国語B(主として活用)

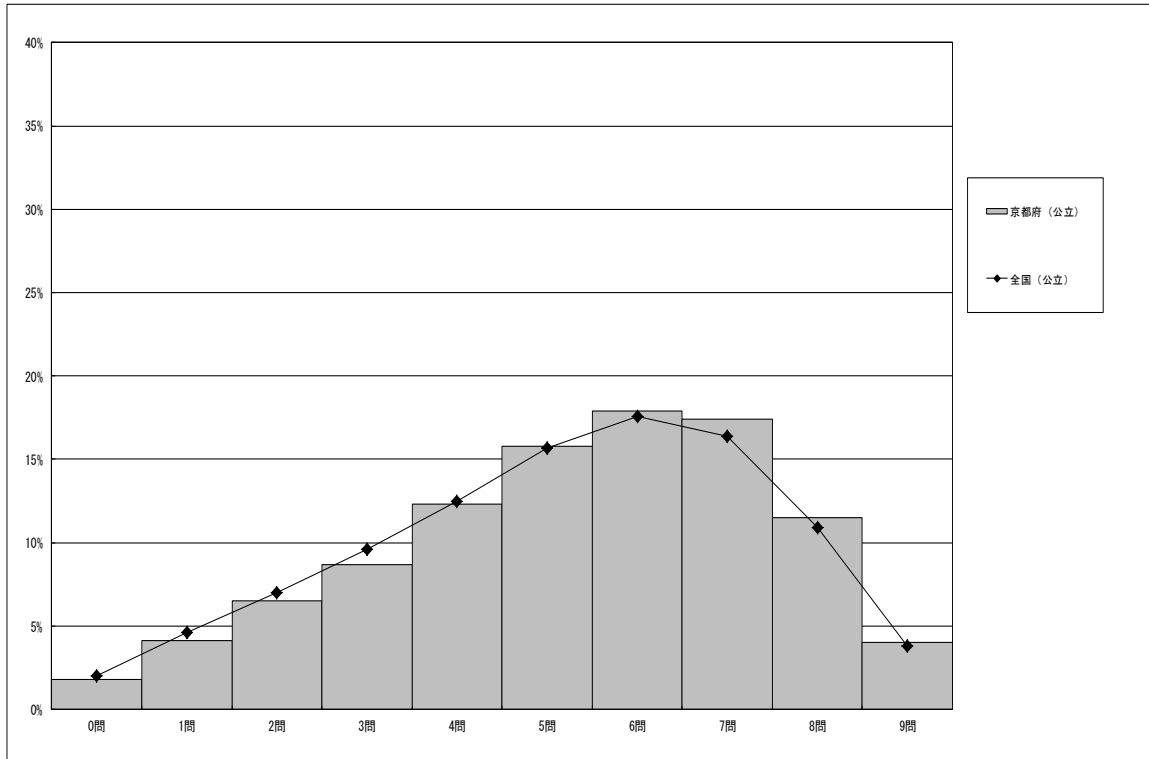
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	19,970	5.3 / 9	59	6.0	2.2
全国(公立)	999,498	5.2 / 9	57.5	5.0	2.2

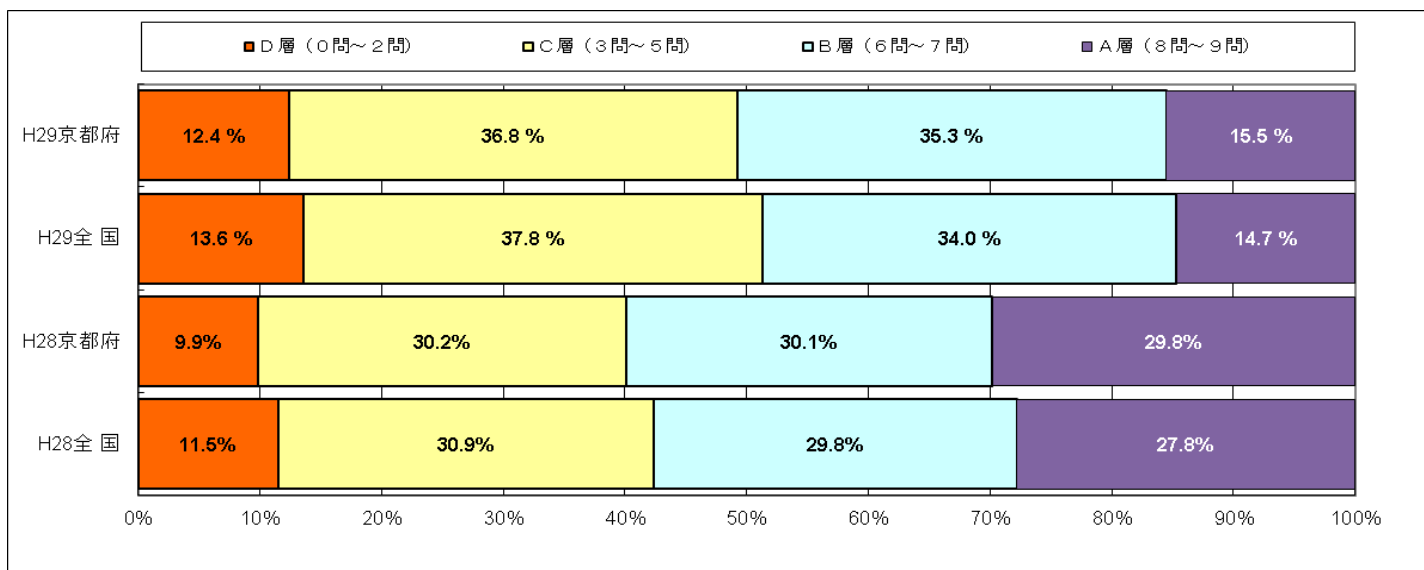
在籍児童数	調査対象児童数	当日実施児童数	後日実施児童数	実施児童総数
20,719	20,467	19,970	158	20,128
1,055,335	1,029,698	999,498	11,678	1,011,176

正答数集計値 (左:児童数 右:割合(%))		
0問	368	1.8
1問	815	4.1
2問	1,298	6.5
3問	1,731	8.7
4問	2,454	12.3
5問	3,148	15.8
6問	3,575	17.9
7問	3,471	17.4
8問	2,303	11.5
9問	807	4.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



◇【小学校国語B】A～D層の分布状況(平成28年度と29年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、児童をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の児童をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の児童をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の小学校国語Bの出題数は9問あり、全国の平均正答数が5.2問です。したがって、0～2問がD層、3～5問がC層、6～7問がB層、8～9問がA層となります。

ウ 算数A(主として知識)

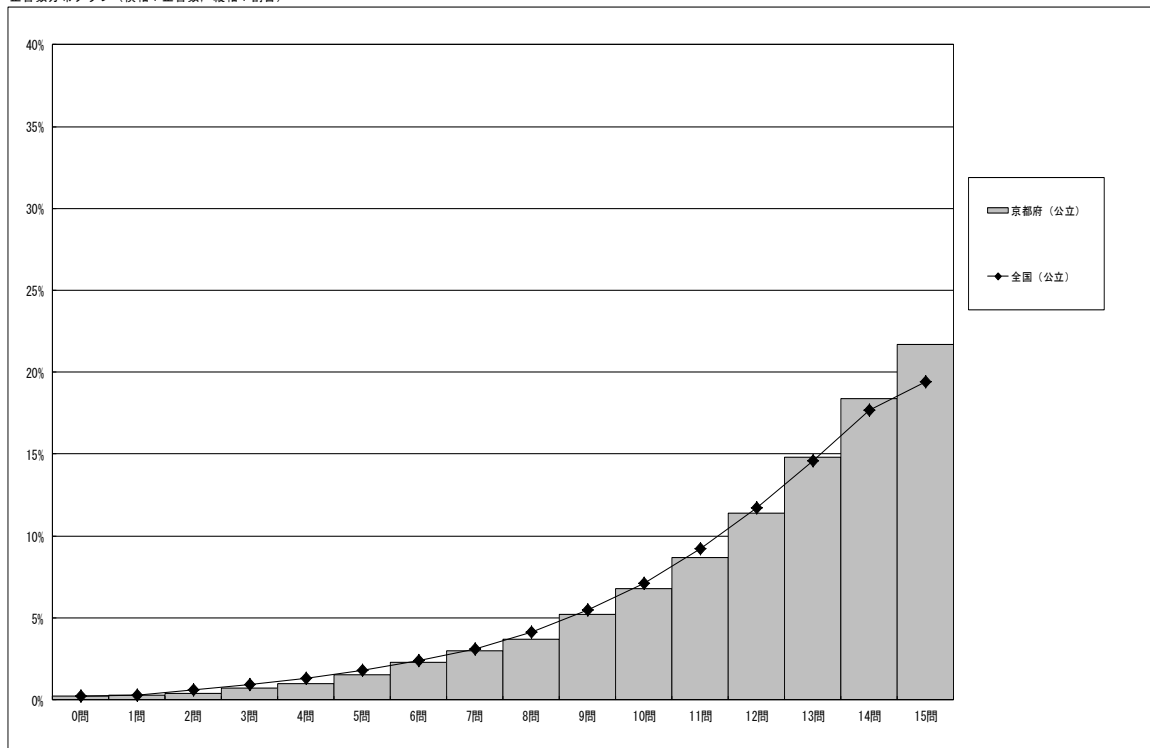
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	19,977	12.0 / 15	80	13.0	2.9
全国(公立)	999,723	11.8 / 15	78.6	13.0	3.1

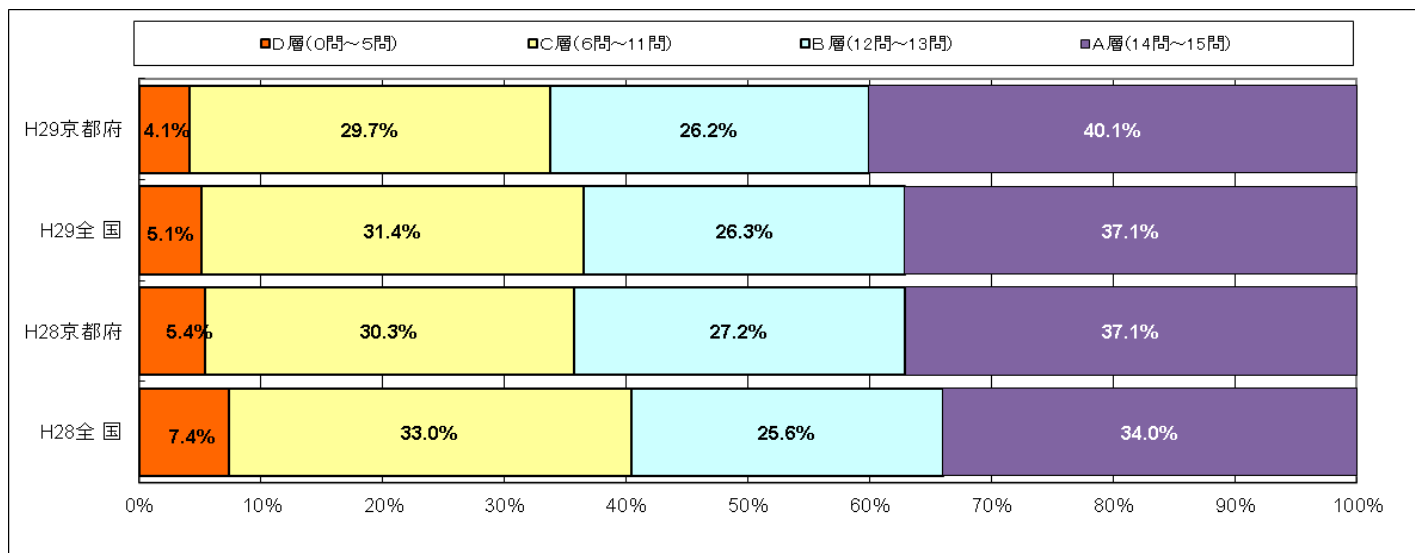
在籍児童数	調査対象児童数	当日実施児童数	後日実施児童数	実施児童総数
20,719	20,467	19,977	161	20,138
1,055,335	1,029,656	999,723	11,722	1,011,445

正答数集計値 (左:児童数 右:割合(%))		
0問	32	0.2
1問	50	0.3
2問	79	0.4
3問	134	0.7
4問	205	1.0
5問	296	1.5
6問	451	2.3
7問	592	3.0
8問	740	3.7
9問	1,045	5.2
10問	1,367	6.8
11問	1,740	8.7
12問	2,278	11.4
13問	2,952	14.8
14問	3,673	18.4
15問	4,343	21.7

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



◇【小学校算数A】A～D層の分布状況(平成28年度と29年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、児童をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の児童をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の児童をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の小学校算数Aの出題数は15問あり、全国の平均正答数が11.8問です。したがって、0～5問がD層、6～11問がC層、12～13問がB層、14～15問がA層となります。

エ 算数B(主として活用)

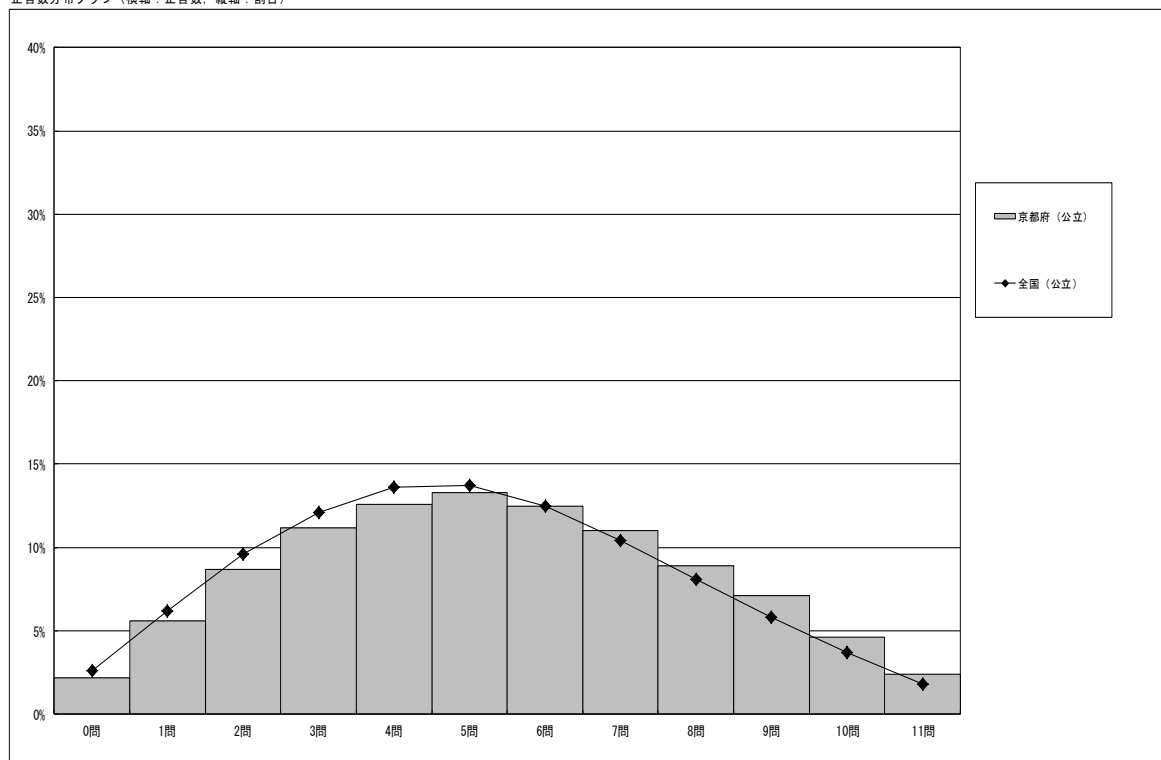
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	19,965	5.3 / 11	48	5.0	2.7
全国(公立)	999,451	5.1 / 11	45.9	5.0	2.6

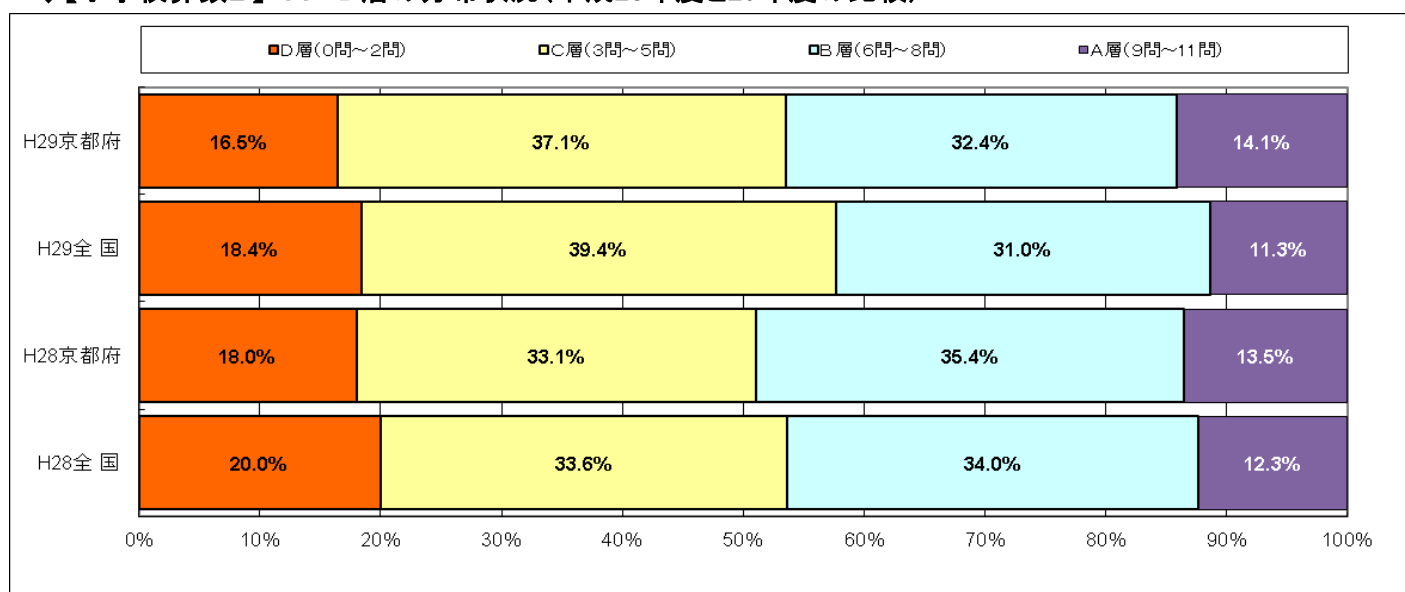
在籍児童数	調査対象 児童数	当日実施 児童数	後日実施 児童数	実施児童 総数
20,719	20,467	19,965	164	20,129
1,055,335	1,029,669	999,451	11,725	1,011,176

正答集計値 (左: 児童数 右: 割合(%))		
0問	431	2.2
1問	1,120	5.6
2問	1,738	8.7
3問	2,235	11.2
4問	2,512	12.6
5問	2,659	13.3
6問	2,487	12.5
7問	2,195	11.0
8問	1,773	8.9
9問	1,413	7.1
10問	916	4.6
11問	486	2.4

正答数分布グラフ(横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



◇【小学校算数B】A～D層の分布状況(平成28年度と29年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、児童をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の児童をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の児童をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の小学校算数Bの出題数は11問あり、全国の平均正答数が5.1問です。したがって、0～2問がD層、3～5問がC層、6～8問がB層、9～11問がA層となります。

4 中学校 正答数の分布状況 ア 国語A(主として知識)

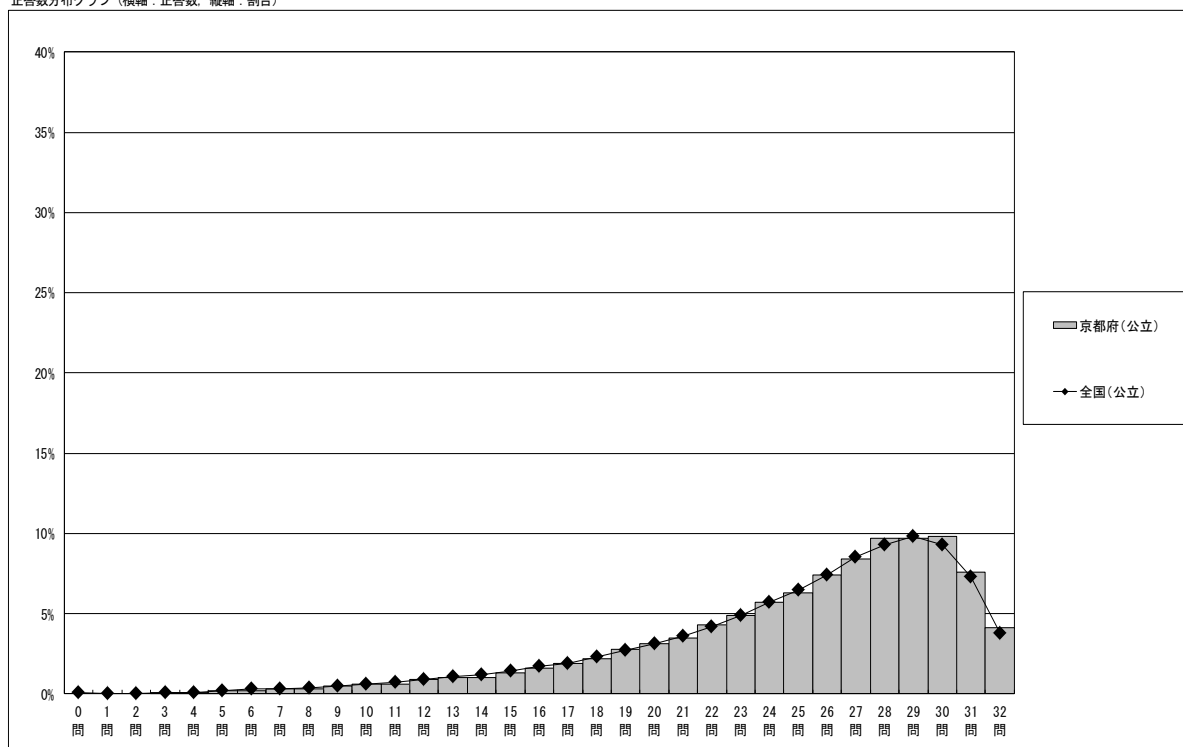
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	18,832	25.0 / 32	78	26.0	5.5
全国(公立)	982,511	24.8 / 32	77.4	26.0	5.7

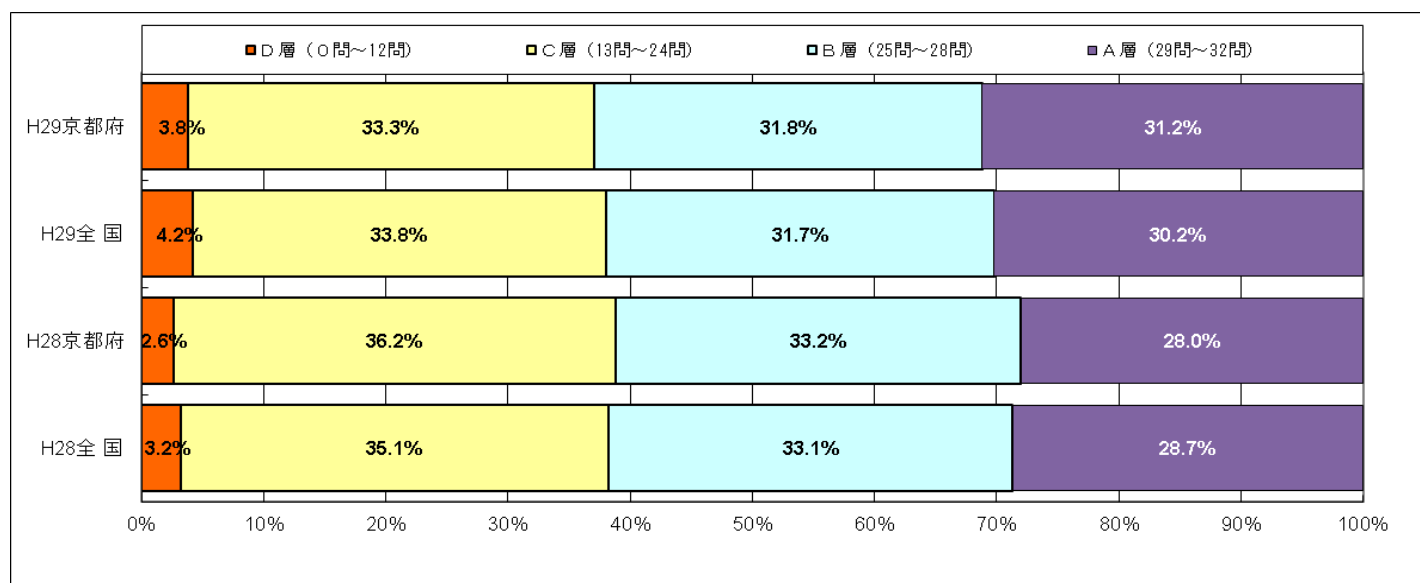
在籍生徒数	調査対象生徒数	当日実施生徒数	後日実施生徒数	実施生徒総数
20,038	19,860	18,832	51	18,883
1,053,140	1,038,428	982,511	7,768	990,279

正答数集計値 (左: 生徒数 右: 割合 (%))		
0問	9	0.0
1問	4	0.0
2問	8	0.0
3問	10	0.1
4問	23	0.1
5問	33	0.2
6問	38	0.2
7問	60	0.3
8問	65	0.3
9問	90	0.5
10問	105	0.6
11問	121	0.6
12問	165	0.9
13問	185	1.0
14問	187	1.0
15問	249	1.3
16問	298	1.6
17問	350	1.9
18問	412	2.2
19問	519	2.8
20問	576	3.1
21問	663	3.5
22問	817	4.3
23問	919	4.9
24問	1,070	5.7
25問	1,177	6.3
26問	1,389	7.4
27問	1,574	8.4
28問	1,829	9.7
29問	1,826	9.7
30問	1,850	9.8
31問	1,430	7.6
32問	781	4.1

正答数分布グラフ (横軸: 正答数 縦軸: 割合)



◇【中学校国語A】A～D層の分布状況(平成28年度と29年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の生徒をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の生徒をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の中学校国語Aの出題数は32問あり、全国の平均正答数が24.8問です。したがって、0～12問がD層、13～24問がC層、25～28問がB層、29～32問がA層となります。

イ 国語B(主として活用)

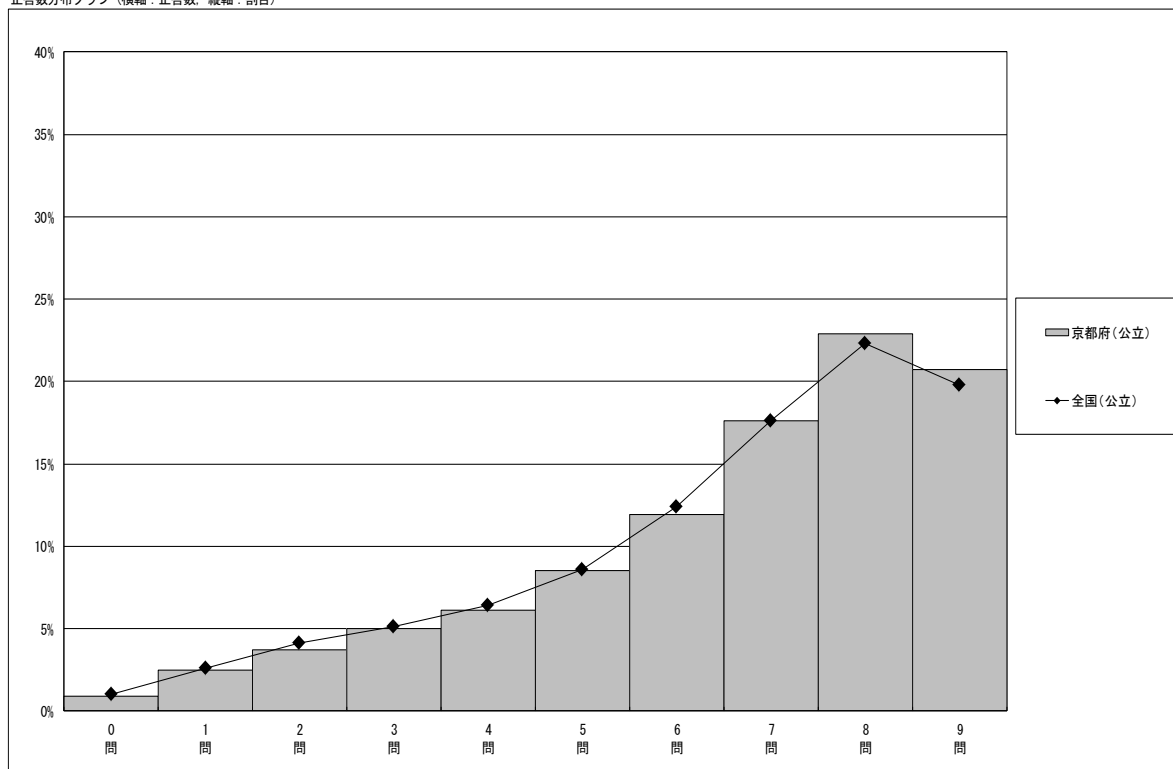
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	18,839	6.6 / 9	73	7.0	2.2
全国(公立)	982,619	6.5 / 9	72.2	7.0	2.3

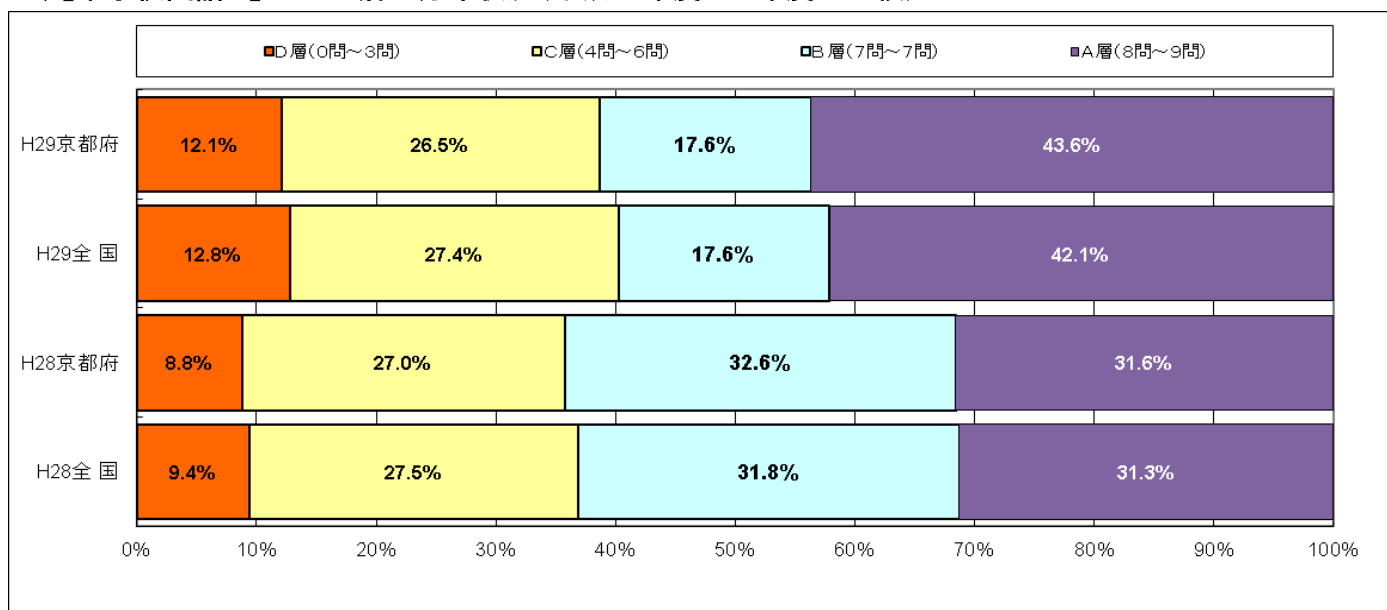
在籍生徒数	調査対象生徒数	当日実施生徒数	後日実施生徒数	実施生徒総数
20,038	19,860	18,839	53	18,892
1,053,140	1,038,431	982,619	7,760	990,379

正答数集計値 (左: 生徒数 右: 割合(%))	
0問	172 0.9
1問	475 2.5
2問	699 3.7
3問	951 5.0
4問	1,148 6.1
5問	1,601 8.5
6問	2,250 11.9
7問	3,322 17.6
8問	4,315 22.9
9問	3,906 20.7

正答数分布グラフ(横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



◇【中学校国語B】A～D層の分布状況(平成28年度と29年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の生徒をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の生徒をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の中学校国語Bの出題数は9問あり、全国の平均正答数が6.5問です。したがって、0～3問がD層、4～6問がC層、7～7問がB層、8～9問がA層となります。

ウ 数学A(主として知識)

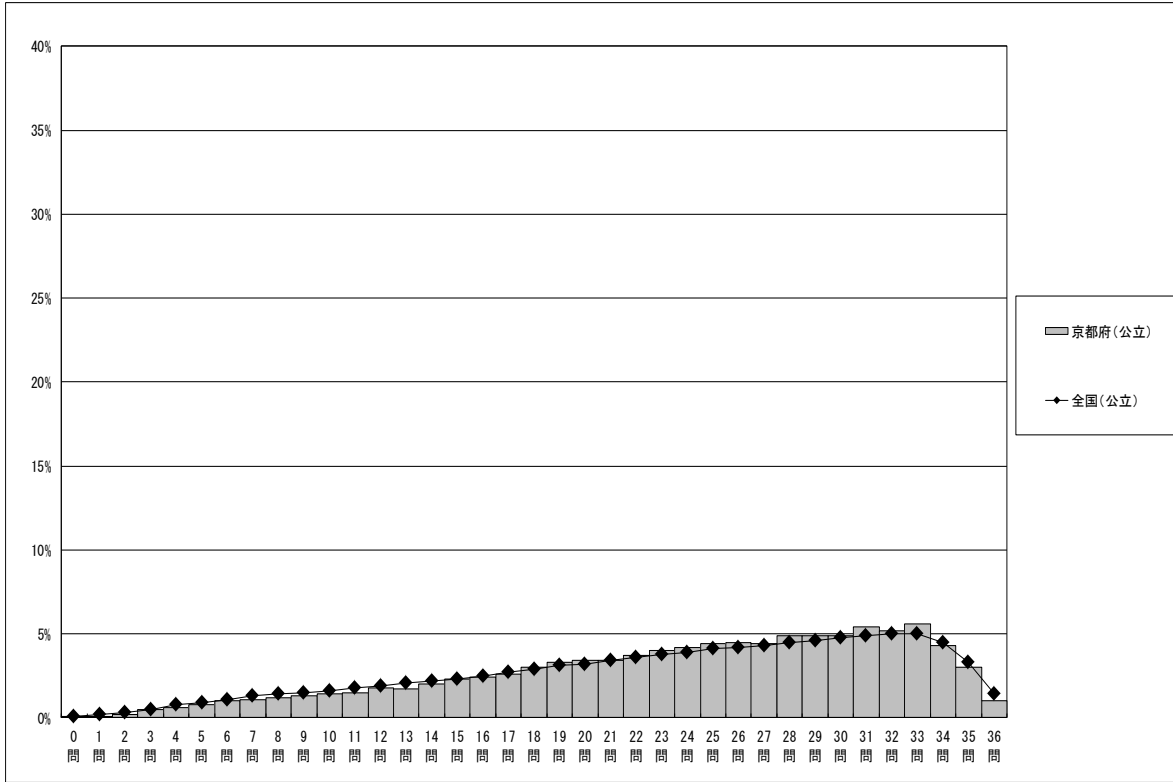
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	18,855	23.7 / 36	66	25.0	8.1
全国(公立)	982,811	23.3 / 36	64.6	25.0	8.5

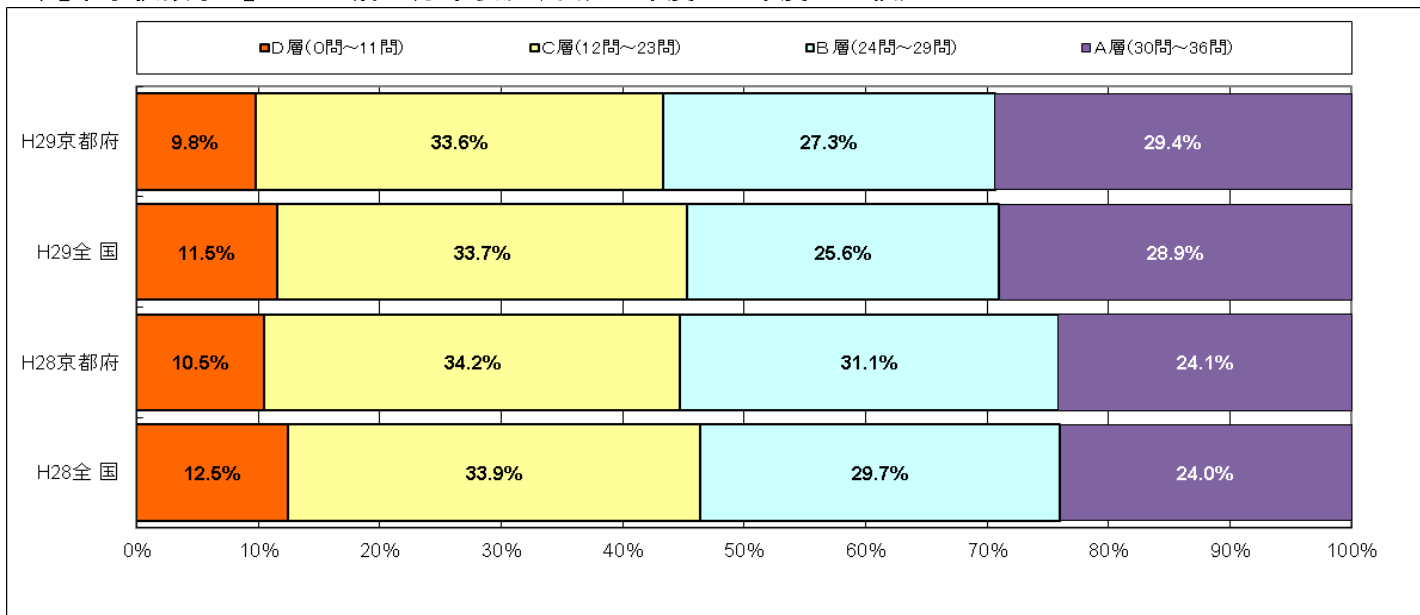
在籍生徒数	調査対象生徒数	当日実施生徒数	後日実施生徒数	実施生徒総数
20,038	19,860	18,855	53	18,908
1,053,140	1,038,408	982,811	7,756	990,567

正答数集計値 (左: 生徒数 右: 割合(%))		
0問	14	0.1
1問	17	0.1
2問	42	0.2
3問	97	0.5
4問	117	0.6
5問	154	0.8
6問	190	1.0
7問	214	1.1
8問	219	1.2
9問	247	1.3
10問	270	1.4
11問	277	1.5
12問	348	1.8
13問	316	1.7
14問	381	2.0
15問	437	2.3
16問	457	2.4
17問	483	2.6
18問	559	3.0
19問	621	3.3
20問	636	3.4
21問	637	3.4
22問	697	3.7
23問	746	4.0
24問	783	4.2
25問	826	4.4
26問	845	4.5
27問	824	4.4
28問	921	4.9
29問	926	4.9
30問	929	4.9
31問	1,016	5.4
32問	979	5.2
33問	1,059	5.6
34問	813	4.3
35問	562	3.0
36問	196	1.0

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



◇【中学校数学A】A～D層の分布状況(平成28年度と29年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の生徒をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の生徒をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の中学校数学Aの出題数は36問あり、全国の平均正答数が23.3問です。したがって、0～11問がD層、12～23問がC層、24～29問がB層、30～36問がA層となります。

エ 数学B(主として活用)

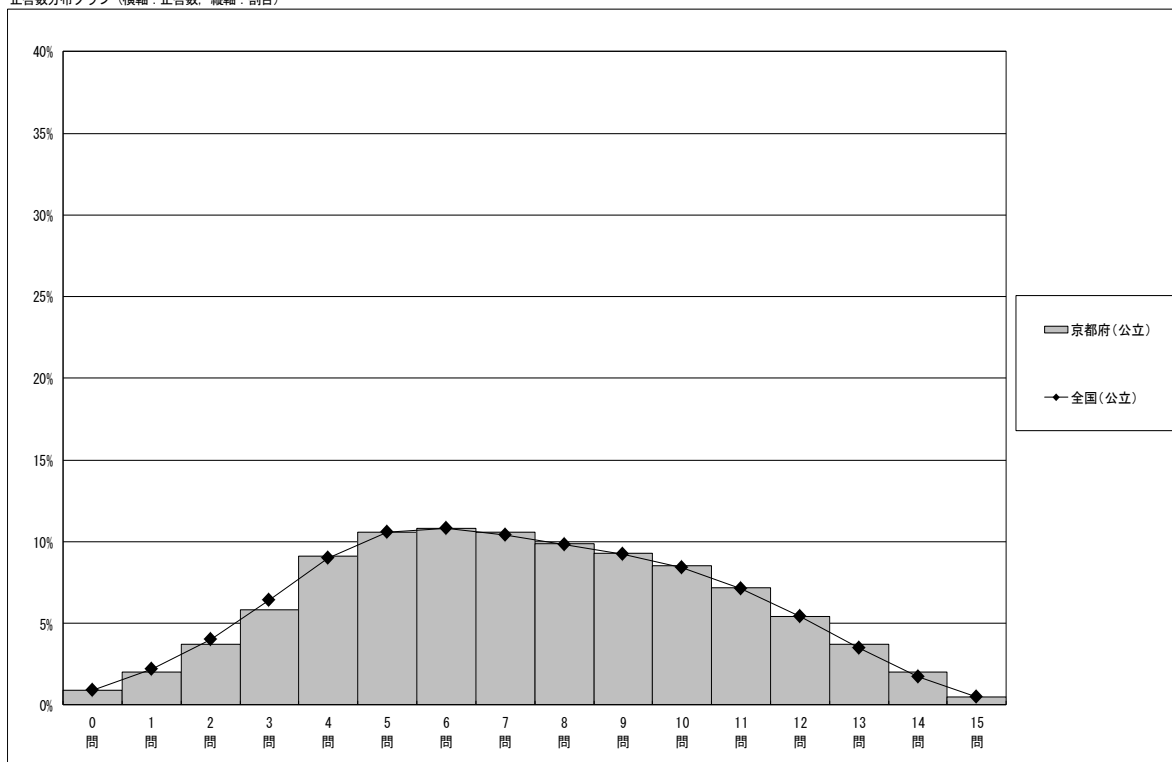
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	18,850	7.3 / 15	49	7.0	3.3
全国(公立)	982,786	7.2 / 15	48.1	7.0	3.3

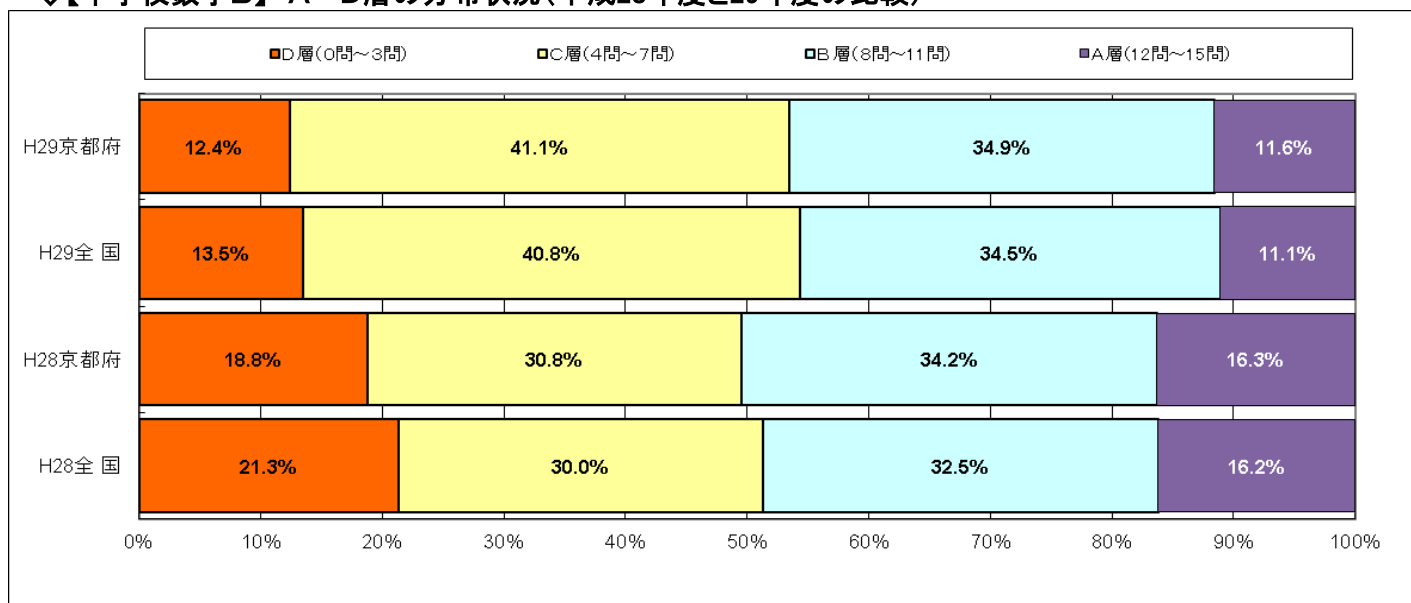
在籍生徒数	調査対象生徒数	当日実施生徒数	後日実施生徒数	実施生徒総数
20,038	19,860	18,850	57	18,907
1,053,140	1,038,398	982,786	7,758	990,544

正答数集計値 (左: 生徒数 右: 割合(%))	
0問	167 0.9
1問	371 2.0
2問	696 3.7
3問	1,102 5.8
4問	1,709 9.1
5問	1,990 10.6
6問	2,038 10.8
7問	1,999 10.6
8問	1,868 9.9
9問	1,750 9.3
10問	1,604 8.5
11問	1,349 7.2
12問	1,020 5.4
13問	703 3.7
14問	383 2.0
15問	101 0.5

正答数分布グラフ(横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



◇【中学校数学B】 A～D層の分布状況(平成28年度と29年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の生徒をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の生徒をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の中学校数学Bの出題数は15問あり、全国の平均正答数が7.2問です。したがって、0～3問がD層、4～7問がC層、8～11問がB層、12～15問がA層となります。